

「解答」・「解答例」

選抜区分	2025年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
<p>問題 I</p> <p>問 1 AI は、外科医が手術を行う際に、主要な血管や神経といった命にかかわる組織を回避するのに役立っている。このシステムは手術をより安全なものにすると同時に、若手外科医の育成にも役立っている。しかし、各人の体の違いによるリスクはまだあり、多くの臨床を経験することでしか、外科手術中に現れる事象や組織の多様性について多くを学び、また本当に理解することはできない。（180字）</p> <p>問 2 リアルな表情をともなって、日本語や英語、中国語を含む二〇を超える言語で本物らしい受け答えをすることができる。高齢者介護施設で話し相手としての使用が想定されている。（81字）</p> <p>問 3 人工知能が多様な領域で人間の知能を凌駕した際に危険が生じるので、各国政府は早急に対策を講じなければならない。このようなシステムの開発をどのように監視し、規制し、互いに信頼し合うかについて、我々は賢明でなければならない。（109字）</p> <p>問 4 「出題の意図」を参照のこと。</p>	

「出題の意図」

選抜区分	2025年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
出題の意図 （評価のポイント）	問題 I 問 4 問題文の主題に関して英語で意見を述べさせることにより、英語の読解能力、英文の構成能力（英単語、英文法、英語構文に関する知識）、発想力、論理的思考力を問いました。

「解答」・「解答例」

選抜区分	2025年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
問題Ⅱ	
問1(標準的な解答例)	
<p>大和ミュージアムの展示は、兵器や軍港だった呉の役割が中心となっている。日本の科学技術の高さと次世代への継承というメッセージを前面に出すことで、兵器展示という特殊性を緩和し中立性を保とうとしている。だが兵器の「技術力」とは殺傷能力であり、その高さを展示することは兵器の存在を正当化する契機となりうる。また、展示には戦闘による犠牲者などの負の側面が不足している。平和記念資料館は、原爆被害を全面に出した展示であるが、被害者の苦しみを強調すればするほど、日本軍による戦地での残虐行為の記憶が後景に退く恐れがある。他方で展示は核兵器を絶対悪とし平和を希求するより普遍的なメッセージを強力に伝えてもいる。(297字)</p>	
問2（前半部の標準的な解答例と後半部の出題の意図）	
筆者の考えのまとめ(前半部)の標準的な解答例	
<p>筆者は、自らが制作する歴史展示に自覚的であるためには、展示自体が自らを縛っている制約を乗り越える覚悟が必要になると述べる。そのためには例えばモーリス＝スズキの「連累」と「歴史への真摯さ」の考えを用いれば、負の過去についても包み隠さず展示することや、歴史展示を完成品としてではなく、常に他者との対話に対して開かれたものにすることが必要だという。また博物館展示は、国家が国民を創出し統合するための装置であり、政治的に左右されやすいことを自覚すべきとしている。(227字)</p>	
自分の考え(後半部)の出題の意図	
<p>後半部では、前半部の筆者の考えを受けて、自身の考えを論理的かつ説得的に述べる力を問うている。解答には様々な切り口があり得る。</p> <p>筆者はモーリス＝スズキの「連累」と「歴史への真摯さ」の考えを援用しながら、「自覚的な展示」の例として、負の側面や他者に対して開かれた展示を挙げた。これに対し、具体的にどのような展示がありうるかを、解答者が知る展示の実例を挙げながら論じてもよいだろう。</p> <p>あるいは、筆者のいう「自覚的」で「中立性」のある展示は実現可能かを検討することもできよう。とりわけ戦争に関する展示は、勝者／敗者、加害者／被害者といった複数の立場が複雑にからみあう。そこで、自らにとって不都合な負の展示をすれば直ちに「中立性」が担保されるのかを疑問視してみてもいいだろう。また、ある特定の立場の人が反対する内容の展示が、「表現の自由」の名の下に許されるのかという問題も想定される。以上のような展示が持つ課題や難しさについて具体例を挙げて述べるとよいだろう。</p> <p>他方で、原爆資料館における核廃絶と平和の希求のように、歴史展示には人類にとっての普遍的メッセージを発信する力があるといった、博物館展示の可能性や果たしうる役割について、解答</p>	

者がこれまで鑑賞した展示などに言及しながら述べるのもよいだろう。

また、展示を見る側として、展示された過去の事物と自らの直接的／間接的関わり（連累）を認識し「自分事」として捉えるにはどうしたらいいか、あるいはどのようにすることが歴史に対して「真摯」であるのかを考えてみてもよい。その際、展示には常に政治性がつきまとうという本文の主張に鑑み、展示を見る側も、展示内容をうのみにするのではなく、背後の意図に対して自覚的になる必要があることに言及してもよいだろう。

問2全体をとおして、本文の筆者の主張を正確にとらえたうえで、それに対する賛同あるいは否定的な意見を含む解答者自身の考えを、自身の経験や日頃耳目に触れた事象に引き付けて論理的かつ説得的に論述する力が求められる。